

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 6 年 第 3 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	高 田 豊 繁	1 子育て支援対策について	(1) 就学前の乳幼児を島外の医療機関に通院させざるを得ない場合に、要する旅費の助成を積極的に行う考えはないか。 (2) 障害のある（児童福祉法に定める）18歳未満の児童を島外の医療機関に通院させざるを得ない場合に、要する医療費及び旅費の助成を積極的に行う考えはないか。 (3) 少子化対策や子育て環境を整備するための対策の一環として、少子化・子育て支援対策室を設置するとともに、児童公園等の環境を整備する必要があると痛感されるが、積極的に推進する考えはないか。	町 長 町 長 町 長
		2 災害に強いまちづくり対策について	(1) 台風や南海トラフ沖地震等の大型自然災害の発生に備えて、町防災対策基本条例（仮称）を制定する考えはないか。 (2) 防災対策の一環として、前浜地区、ハキビナ地区の海岸防災工事の早期実施が求められるが、今後どう推進していく考えであるか。 (3) 大型台風や地震に備えた住宅建設を促進するため、新築住宅に対する固定資産税の一定期間の軽減措置又は建築費の助成が行える耐震耐風住宅建設促進制度を創設し、災害に強いまちづくりを進める考えはないか。	町 長 町 長 町 長
2	町 俊 策	1 サンゴ礁基金の寄附金増対策について	(1) 本町には、寄附金を社会投資の資金として受け入れ、個性あるまちづくりに資することを目的とした与論町ヨロン島サンゴ礁条例が制定されている。この条例を改正して、現在寄附金の使途対象となっているサンゴ礁の保全、ヨロンマラソンの運営、与論十五夜踊りの保存、離島の振興事業以外にも寄附金が集まる仕組みにし、制	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 6 年 第 3 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
			<p>度の内容充実を図る考えはないか。</p> <p>(2) 基金の運用から生ずる収益の一部を充てることにより、島内で生産された農産物、海産物及び加工食品等を詰め合わせた「ふるさと宅急便」を寄附者に贈ることで、絆が一層深まるとともに、関係者の生産意欲等も高まると痛感されるが、町長はどう考えているか。</p>	町 長
		2 在来種の調査と保護対策について	<p>(1) Uターンし定住してから約40年になるが、帰郷当時は普通に見掛けていた動植物が、いつの間にかなくなった。海洋生物をはじめ、陸上の小動物や植物類、鳥類等の在来種を今のうちに図鑑等に掲載し、保護していく必要があると痛感されるが、町長はその対策をどう考えているか。</p>	町 長
3	喜 山 康 三	1 新清掃センターの建設場所に係る反対運動とごみ対策について	<p>(1) 兼母地区に新清掃センターが建設された場合、空港、港湾はもとより、周辺のホテル、レストラン、住宅だけでなく、風向きによっては茶花市街地にも排煙が流れ込むなど、住民の健康被害や観光産業への悪影響が懸念される。このため、当該地区に建設することへの反対運動が起きているが、建設予定地を再検討する考えはないか。</p> <p>(2) 新清掃センターの処理能力を1日当たり8トンと見込んでいるが、この試算値は人口減少等将来を見据えた場合過大ではないか。</p> <p>(3) 昨年2月から一般廃棄物処理有料化検討委員会が開催されているが、町民の負担見込額の算定根拠と課金の方法をどう考えているか。</p>	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成26年第3回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		2 防災・減災対策について	(1) 大雨が降ると産業通りは恒常的に冠水する。将来さらに大きな被害の発生も想定されるが、町長は現状をどのように認識し、これまでどのような対策を講じてきたか。また、今後対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		3 与論城跡公園の管理について	(1) 城の与論城跡一帯の公園入口に宗教法人の立札が立っているが、どのようないきさつによるものか。また、一帯の公園はどのように管理運営しているか。	町 長